

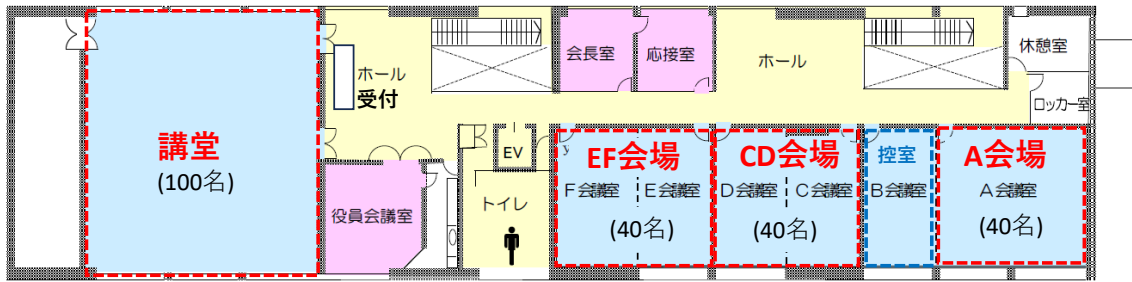
2026 年度河川技術シンポジウムのプログラム (ver. 20260604)

(6月18日～19日 土木学会, オンライン併用)

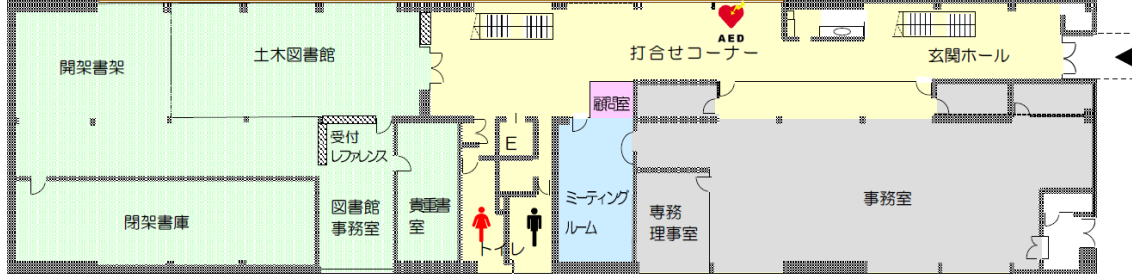
6月15日(月) ～7月3日(金)	発表論文の説明資料に対するオンラインディスカッション	
6月18日(木) 8:50- 9:50-10:00 10:00-10:30	第1日目 (対面・オンライン併用) 受付 開会の挨拶 (河川部会部会長 堀江克也) 河川技術論文賞 表彰式	開催場所: 講堂+ A, CD, EF 会場
10:30-12:30	<u>特定課題オーガナイズドセッション1 (OS1)</u> 「大量の土砂と流木を伴う洪水氾濫の実態把握と必要な河川技術 ～近年の中山間地河川で生じた大規模水害から学ぶ～」 オーガナイザー: 柏田仁, 川池健司, 武内慶了, 田端幸輔, 西口亮太, 田方俊輔, 米田駿星	講堂+ A, CD, EF 会場
12:30-13:30	昼食	
13:30-13:45	ポスター設置	対面: 講堂+
13:45-14:55	<u>ポスターセッション(PS1)・オンラインディスカッション</u>	CD, EF 会場
15:00-16:10	<u>ポスターセッション(PS2)・オンラインディスカッション</u>	オンライン:
16:15-17:25	<u>ポスターセッション(PS3)・オンラインディスカッション</u>	A 会場
17:25-17:40	ポスター撤去	
18:00-20:00	交流会	Patia 四ツ谷
6月19日(金)	第2日目 (対面・オンライン併用)	
9:00-11:00	<u>特定課題オーガナイズドセッション2 (OS2)</u> 「河川環境目標を現場につなぐ評価・設計・管理技術」 オーガナイザー: 原田守啓, 知花武佳, 藤本雄介, 崎谷和貴, 三浦心, 松田浩一	講堂+ A, CD, EF 会場
11:10-12:50	<u>オールセッション1</u>	講堂+ A, CD, EF 会場
12:50-13:50	昼食	
13:50-15:30	<u>オールセッション2</u>	講堂+ A, CD, EF 会場
15:40-17:40	<u>オールセッション3</u>	講堂+ A, CD, EF 会場
17:50-18:10	閉会式 (河川部会副部会長 瀬崎智之) 優秀発表者賞の発表	講堂+ A, CD, EF 会場

シンポジウムの会場(土木学会 2F)

2F



1F



土木会館内禁煙

- ハブリックスペース
- 会議室
- 図書館
- 会長室等
- 執務室

公益社団法人 土木学会

詳細プログラム

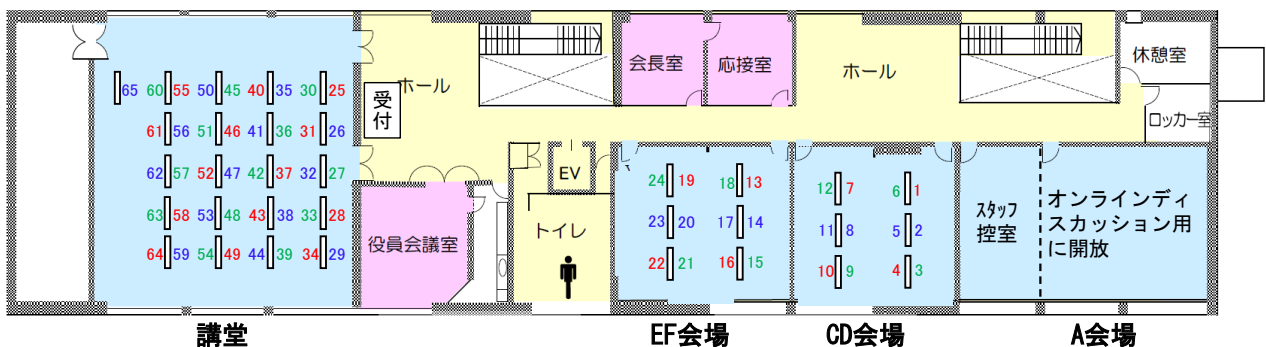
一日目 6月18日(金)

開始	終了	講堂	A会場	CD会場	EF会場
9:50	10:00	開会の挨拶 司会：堀江			
		メイン会場	サブ会場	サブ会場	サブ会場
10:00	10:30	河川技術論文賞 表彰式 司会：原田			
		メイン会場	サブ会場	サブ会場	サブ会場
10:30	12:30	OS1 オガナザー：柏田、			
		メイン会場	サブ会場	サブ会場	サブ会場
12:30	13:30	昼食			
13:30	13:45	休憩(ポスター設置)			
		ポスターセッション			
13:45	17:25	PS1:13:45~14:55 PS2:15:00~16:10 PS3:16:15~17:25	オンラインディスカッション用に開放	PS1:13:45~14:55 PS2:15:00~16:10 PS3:16:15~17:25	PS1:13:45~14:55 PS2:15:00~16:10 PS3:16:15~17:25
17:25	17:40	ポスター撤去		ポスター撤去	

二日目 6月19日(金)

開始	終了	講堂	A会場	CD会場	EF会場
9:00	11:00	OS2 オガナザー：原田、			
		メイン会場	サブ会場	サブ会場	サブ会場
10:40	10:50	休憩			
11:10	12:50	S1-1: ダムの計画・管理 (座長：太田 一行 ／松田 浩一)	S1-2: 洪水流の水利, 河川 構造物・局所流・局所洗掘 (座長：後藤 岳久 ／久保 宜之)	S1-3: 観測技術・計測技術 ・リモートセンシング (座長：吉村 英人 ／本田 隆英)	S1-4: 河川環境・河川生態 (1) (座長：知花 武佳 ／藤本 雄介)
12:50	13:50	昼食			
13:50	15:30	S2-1: 土砂水理・河床変動 (座長：原田 大輔 ／三浦 心)	S2-2: 河川計画, 超過洪水, 洪水リスク (座長：萬 和明 ／TBD)	S2-3: 河川堤防・護岸 (座長：五十嵐 善哉 ／上野 俊幸)	S2-4: 河川環境・河川生態 (2) (座長：溝口 裕太 ／小林 賢也)
15:30	15:40	休憩			
15:40	17:40	S3-1: 大量の土砂・流木を 伴う洪水・氾濫 (座長：溝口 敦子 ／田端 幸輔)	S3-2: 降雨流出・洪水・ 氾濫予測, 避難 (座長：川池 健司 ／見上 哲章)	S3-3: 河川のDX, ビッグ データ分析, AI (座長：谷口 健司 ／西口 亮太)	S3-4: 河川環境・河川生態 (3) (座長：原田 守啓 ／崎谷 和貴)
17:40	17:50	休憩			
17:50	18:10	メイン会場 閉会式 司会(瀬崎)	サブ会場	サブ会場	サブ会場

PSのポスター配置



ポスターセッション 6月18日(木) 13:45~17:25

No	タイトル	発表者	セッション	会場
1	ニッコウイワナの保全のためのバープ工の設置と地域住民による維持活動の効果	木下 篤彦	PS1	CD会場
2	扇状地河川における礫列に着目した環境目標の検討と魚類の保全効果	唐沢 和輝	PS2	
3	環境DNA分析を用いた中国地方一級水系における水生昆虫類の多様性評価～河川水辺の国勢調査との比較～	中尾 遼平	PS3	
4	水理指標を介して河川環境管理シートの思想を河道設計に活用する手法	秋田 麗子	PS1	
5	湾曲部を有する全断面越流魚道の水面変動抑制対策の提案	竹内 洋介	PS2	
6	日本の土地利用を踏まえた流域におけるネイチャークレジット制度に関する検討	中村 圭吾	PS3	
7	環境DNAデータを用いた流域の魚類生息ポテンシャルマップ作成	江口 健斗	PS1	
8	機械学習を用いた河川空間利用者数に影響する要因の定量評価	田中 孝幸	PS2	
9	治水と環境が一体となった多自然川づくりの推進に向けた既往掘削事例の分析及び活用に関する基礎的検討	吉田 勢	PS3	
10	UAVを用いた麻機遊水地に繁茂する外来生物ナガエツルノゲイトウの生育場所の特定および成長量の定量化	居波 智也	PS1	
11	妙正寺川における合流式下水道越流水の流出特性を再現可能な簡易数値モデルの構築	河口 敏也	PS2	EF会場
12	京都府大手川における「象の鼻・天狗の鼻構造」を「小さな自然再生」に活用した持続的なワンドの保全	坂本 愛実	PS3	
13	不変量解析による不透水制御群周辺の流れ特性について	相田 穂乃花	PS1	
14	平均成分加速法(ACA法)の適用限界の評価方法	松下 晃生	PS2	
15	水位境界条件下におけるリーマン不変量に基づく流量再現性の検証	加藤 一夫	PS3	
16	蛇行河川における氾濫戻り流れによる対岸決壊が流況に与える影響に関する基礎的実験	掛谷 諄	PS1	
17	総合土砂管理や森林管理など流域治水対策に資する分布型土砂流出モデルの開発	桑原 正人	PS2	
18	非線形安定解析に基づく砂州波高の長期予測手法の実河川への適用性評価	関 翔平	PS3	
19	貯水池土砂対策のためのGUI付き土砂動態解析ツールの開発	太田 一行	PS1	
20	土砂供給量の減少に伴うセグメント1河川の二極化に関する実験的研究	小橋 力也	PS2	
21	天端橋梁橋脚がPKW (Piano Key Weir) の水理特性に与える影響	高田 翔也	PS3	
22	矢木沢ダム、藤原ダムの連携運用に基づく洪水調節能力の定量評価	高木 秀太	PS1	
23	河川堤防の漏水・噴砂メカニズムに基づく漏水対策型水防工法の有効性と適用範囲	加藤 碩二郎	PS2	講堂
24	越流水に対する小粒径被覆かごマットの変形特性と安定性評価	原田 晃湧	PS3	
25	扇状地河川における掘削後の植生遷移と多様性指標の時空間的評価—河道植生の多様性管理に向けたインパクトレスポンス解析—	指村 奈穂子	PS1	
26	河道内の植生繁茂・自然裸地の縦断分布傾向の把握とその簡易推定指標に関する検討	和田 孝志	PS2	
27	ダム建設を伴う二極化・樹林化の流砂有効流量に及ぼす影響	江口 琴美	PS3	
28	樹木ライフサイクルに基づく札内川の樹林化と流路変動の統合解析	佐々木 慎司	PS1	
29	深層学習を用いた河道内植生予測モデル	藤村 善安	PS2	
30	森林領域における土砂流出発生に諸因子が及ぼす影響の定量的評価	秋田 寛己	PS3	
31	中山間地流域における家屋流失評価に向けた河道埋塞を伴う氾濫流についての水理的考察	大野 純暉	PS1	
32	中小河川における大量の土砂・流木の影響を考慮した実用的な浸水範囲推定手法	湯浅 亮	PS2	
33	浸水リスク評価プロダクトの比較に基づく実用的な浸水リスク評価手法に関する研究	蟹江 盛仁	PS3	

No	タイトル	発表者	セッション	会場
34	氾濫解析に基づく小規模水路が洪水氾濫特性に及ぼす影響	小山 直紀	PS1	講堂
35	超過洪水時における笛吹川霞堤群の治水効果	国友 悠登	PS2	
36	肱川中流部の県管理河道における計画的氾濫の評価	河内 敦	PS3	
37	降雨流出氾濫モデルによる危機管理型水位計の水位予測とグリーンレーザー測量を活用した河道地形補正による水位予測精度の向上	三崎 貴弘	PS1	
38	2024年9月奥能登豪雨における洪水氾濫解析を通じた広域での出水状況の再現と地震の影響評価	中尾 朔也	PS2	
39	粒子フィルタ適用後の洪水予測挙動に着目した分布型流出モデルのパラメータ最適化に関する考察	山下 大輔	PS3	
40	WGAN-GPを用いたMSM降水量の統計的ダウンスケーリングと洪水予測精度の評価	新井 章珣	PS1	
41	深層学習による河川水位予測モデル・氾濫予測モデルと次元不定流モデルを連携させたリアルタイム浸水域予測	一言 正之	PS2	
42	九頭竜川流域における田んぼダム導入に伴う減災効果と農業被害の推計	西野 駿治	PS3	
43	農業関連施設の効果検討に向けた流域治水検討用一体型モデルの改良と複雑な農業 水利・排水系統を有する流域への適用	西澤 諒亮	PS1	
44	DSJRA-55を用いた年降水量のトレンドの全国的把握とMann-Kendall検定および地域Kendall検定	因幡 直希	PS2	
45	小河川における霞堤開口部の特性及び周辺耕作放棄水田の地形改変がピーク流量低減効果に与える影響評価	今井 洋太	PS3	
46	背水現象を用いた圃場への洪水導水手法の提案と河川水位低減の定量的評価	小柳 俊登	PS1	
47	気候変動による流域水資源への影響評価のケーススタディ	櫻井 佳世	PS2	
48	令和5年台風2号に伴う大雨による住宅団地の内水被害と浸水防止対策の検討	中野 晋	PS3	
49	河川氾濫と内水浸水の相互作用に着目した地域の浸水特性把握	中村 賢人	PS1	
50	河川整備段階における内水・外水氾濫による外力規模毎の治水効果への影響評価	小林 永人	PS2	
51	UAV画像の標準偏差を用いた広域での表層粒度把握手法の実河川への適用	氷見 啓樹	PS3	
52	河畔林における樹木の生育密度とその空間配置に関する研究	宮本 豊郎	PS1	
53	移動床室内実験水路における近接写真測量と地上レーザー測量による水面形状の面的計測比較	安田 晃昭	PS2	
54	河川表面情報を用いた無次元掃流力の算定方法に関する検討	稲葉 良也	PS3	
55	全天球カメラを活用した樋門・樋管函体内における変状把握手法の開発	油川 曜佑	PS1	
56	UAVポートによる洪水時の無人連続流況観測と解析報告の自動化に関する実河川実証	千葉 学	PS2	
57	航空レーザー測深データを用いた河道掘削地での堆積・侵食厚の把握	向井 雄紀	PS3	
58	人工衛星画像を用いた河川域植生分類：画像の地上解像度、現地調査におけるデータ数およびGNSS測定精度の判別性能への影響	伊川 耕太	PS1	
59	A Study on Determining Effective Width for River Training of the Jamuna River in Bangladesh	南谷 太一	PS2	
60	河川整備の中で活用された河川技術の振り返り～信濃川中流域での河川整備を対象として～	福島 雅紀	PS3	
61	深層強化学習を用いたダム操作における判断根拠の可視化と有効性の検証	菅田 大輔	PS1	
62	ジェネレーティブデザインを活用した一連区間の河道断面デザイン支援手法	河野 誉仁	PS2	
63	全球洪水被害の3次元解析情報迅速提供サービスの実証	湯浅 岳史	PS3	
64	CCTV画像を用いたアイスジャム自動検知手法の開発	平田 智道	PS1	
65	河川管理検討プロセスの高度化・省力化システム（X-EVA）を活用した河道管理DXの提案	藤原 圭哉	PS2	

オーラルセッション1 6月19(金) 11:10~12:50

S1-1:ダムの計画と管理 (座長:太田 一行/松田 浩一)	発表者	発表形式
貯水池土砂動態と河川環境を考慮した発電用ダムの通砂運用高度化	森本 晃樹	対面
耳川水系ダム通砂における土砂動態特性の分析・評価	森 遼太郎	対面
ダム管理DX実装に向けた基盤技術の検証—中部ダム管理DX研究会による小里川ダムでの自律飛行ドローン試験飛行結果—	松尾 香穂	対面
降雨継続時間を考慮した長時間アンサンブル降雨予測活用方法の検討	道広 有理	対面
洪水期間を事前に設定しない条件下におけるアンサンブル降雨予測とd4PDFの流量波形マッチング手法	成瀬 諒紘	対面
AI強化学習によるアンサンブル予測を用いたハイブリッドダム運用に関する研究	三浦 心	対面

S1-2:洪水流の水利, 河川構造物・局所流・局所洗掘 (座長:後藤 岳久/久保 宜之)	発表者	発表形式
Information Geometric Regularizationによる浅水方程式の高次精度化	永野 雄一	対面
平均成分加速法の加速係数が水位・流速の平面分布に与える影響	森川 裕基	対面
堤防決壊・侵食及び高水敷・低水路河岸侵食に与える洪水流の全エネルギー水頭分布について	佐藤 海輝	対面
小規模河床波が橋脚基礎周りの洗掘に与える影響	竹崎 奏詠	対面
小規模河床波を伴う洪水におけるブロック工の洗掘抑制効果と挙動の分析	梶野 優介	対面
翼型ゲート周りにおいて水面振動が起きる範囲の水利現象とその影響	金目 達弥	オンライン

S1-3:観測技術・計測技術・リモートセンシング (座長:吉村 英人/本田 隆英)	発表者	発表形式
河川表面情報とPINNsを用いた河床高推定の試み	萬矢 敦啓	対面
画像処理型流速観測における時間差を用いた風補正係数の検討	許士 達広	対面
赤外線測定技術を用いた非接触式河川水温計測システムの開発および水温補正に関する検討	松延 和彦	オンライン
低コストなスクリーニングを目的とした自転車移動型 LiDAR-SLAM による堤防天端の変状計測	山本 道輔	オンライン
多峰性対数正規分布モデルを用いた FC型超音波減衰スペクトル計による浮遊砂粒度分布の現地計測	古川 仁志	オンライン
残存する半閉鎖性水域に着目した氾濫原の近過去環境の分析: 堆積速度からみた堤防効果とその影響要因	田代 喬	オンライン

S1-4:河川環境・河川生態(1) (座長:知花 武佳/藤本 雄介)	発表者	発表形式
多摩川水系河川整備計画における 環境定量目標の設定について	中村 宙太郎	対面
河川のダイナミズムに関する技術情報の現状のスクーピングレビュー	土方 宏治	対面
水域・陸域を統合した河道内ハビタットの中長期評価モデルの構築及びその活用	周 月霞	対面
六角川の治水と環境機能の向上のための河道内湛水池群の配置・構造と活用の検討	後藤 勝洋	対面
河川環境の評価における群落クラスターの有効性-荒川,小貝川,鬼怒川における植生変化との対応-	宮脇 成生	対面
複列・多列砂州河道における群落クラスターの分布とその特徴-河川のダイナミズムの視覚化と河川管理への活用-	萱場 祐一	オンライン

オーラルセッション2 6月19(金) 13:50~15:30

S2-1:土砂水理・河床変動 (座長:原田 大輔/三浦 心)	発表者	発表形式
掃流砂と浮遊砂の一体解析(Q3D-INEBS)による洪水中の河床波の移動・変形過程の解析的研究-網状砂州と砂堆の重畳する斐伊川を対象に-	後藤 岳久	対面
洪水時河口域地形変化の数値解析と初期河口地形の推定	坂上 輝	対面
ダム堆砂の土砂還元に適した置土の土質状態に関する水理模型実験	大熊 広樹	対面
簡易指標を用いた安定河道縦断形の設計手法の提案	西口 亮太	対面
大井川流砂系における総合的な土砂管理の取り組み	田方 俊輔	対面
砂州の固定化解消を目的とした「聖牛」による流況攪乱と河床応答に関する数値解析的検討	高野 和成	対面

S2-2:河川計画, 超過洪水, 洪水リスク (座長:萬 和明/TBD)	発表者	発表形式
気候変動を考慮した中小河川の圏域毎基本高水流量算定手法に関する一考察	黒澤 祥一	対面
事前防災としての新たなハザード評価方法の提案	岡部 真人	対面
広域RRIモデルを活用した治水対策と土地開発の複合的な流出影響評価事例	大平 菜央	対面
大河川近傍の小学校における洪水リスク対応に関する継続的実践研究	小池 則満	対面
浦上川における治水対策と流域の都市化を踏まえた流域対策の検討	橋口 茂	対面

S2-3:河川堤防・護岸 (座長:五十嵐 善哉/上野 俊幸)	発表者	発表形式
2000年以降の河川堤防に関する研究動向分析	中西 智哉	対面
流砂形態割合を考慮した堤防越流侵食解析モデルの開発	中田 雄己	対面
降雨時の水収支解析に基づく堤体内の水分分布の推定法	白石 芳樹	対面
浸透被災事例の「場の特徴」に応じた河川堤防の弱点箇所抽出技術の提案	坂本 淳一	対面
柔構造透過性シェルネット型表面被覆工の堤体侵食抑制効果に関する実験的研究	関谷 勇太	対面

S2-4:河川環境・河川生態(2) (座長:溝口 裕太/小林 賢也)	発表者	発表形式
石礫床河川の石の生態的機能と河道掘削工事における石の残し方・戻し方	原田 守啓	対面
地形変化・生息場・生物の関係性に着目したアユを指標とする河川環境評価手法の提案	兵藤 誠	対面
耳川水系ダム通砂による魚類への影響予測の事後評価	大塚 海斗	対面
江の川におけるアユ産卵場の河床環境改善に向けた置き土投入方法の検討と適用	花岡 拓身	対面
深層学習を用いた流域スケールでのアユの季節的な生息分布解析	花本 泰樹	対面
緑川本流と支流におけるアユ生息量差の要因解析:環境DNA と炭素・窒素安定同位体比の統合評価	小森田 智大	オンライン

オーラルセッション3 6月19(金) 15:40~17:40

S3-1:大量の土砂・流木を伴う洪水・氾濫 (座長:溝口 敦子/田端 幸輔)	発表者	発表形式
能登半島豪雨における塚田川の洪水氾濫に土砂・流木が及ぼした影響の分析	原田 大輔	対面
R6年奥能登豪雨災害における土砂・洪水氾濫を伴う河道変動特性の河川間比較	上田 陸人	対面
土砂ダムにおける流木混入密度が決壊時に及ぼす影響	宮江 優貴	対面
橋脚における木除杭の効果と大規模閉塞についての実験的検討	西沢 至恩	対面
氾濫原での粒径別の土砂堆積を考慮した洪水氾濫の解析	脇谷 新	対面
河川氾濫による農地土壌流亡の発生条件と侵食挙動に関する実験的検討	神原 柚乃	対面
降雨強度変化が土砂災害発生危険度の変化に与える影響	五十嵐 孝浩	対面

S3-2:降雨流出・洪水・氾濫予測, 避難 (座長:川池 健司/見上 哲章)	発表者	発表形式
現地浸水情報を用いた氾濫予測システムにおける補正手法の比較評価	久保 英二郎	対面
流域属性に基づく流出モデルパラメータの一般化に関する研究	谷岡 広太郎	対面
複雑な洪水・氾濫現象を表現でき自治体の防災力強化や住民の早期避難などに資するリアルタイム水位・氾濫域予測システムの開発	武田 英祐	対面
岩屋ダムにおける長時間アンサンブル降雨予測を用いた高度運用の検討	阿部 卓也	対面
洪水予報の精度向上に向けた洪水予測モデルの検証・改良支援システムの開発	諸岡 良優	対面
再帰型モデルとの比較によるANNを用いた河川出水予測の妥当性の検証	大野 剛	対面
簡易排水処理を組み込んだ 分布型降雨流出氾濫解析法の構築—沿川に自然堤防帯を有する流域への適用—	渡辺 翔琉	オンライン

S3-3:河川のDX, ビッグデータ, AI (座長:谷口 健司/西口 亮太)	発表者	発表形式
水害リスクの自分事化を促進するデジタルツインの構築と小学校教育現場での実証	大槻 順朗	対面
AI技術を活用した融雪出水発生およびダム流入量予測モデルの構築	桐森 元規	対面
LSTMを活用した融雪期間のシームレスなダム流入量予測手法の提案	伊島 実咲	対面
HiPPOブロックを導入したRNNによる河川水位予測モデルの開発	中村 遼音	対面
ドローンによる河川巡視の自動化を見据えた、河川敷に点在する投棄物の自動検出手法に関する検討	小島 崇	対面
河川定期縦横断測量データの利活用促進に向けた保存形式標準化案	石原 道秀	対面
SAR衛星を活用した浸水検知	松本 幹太	対面

S3-4:河川環境・河川生態(3) (座長:原田 守啓/崎谷 和貴)	発表者	発表形式
環境DNAを用いた河道内氾濫原の環境健全度評価	宮園 誠二	対面
環境DNAによるアユの生息適地評価手法の高精度化に向けた基礎的検討	山崎 陽生	対面
モルフォロジー処理を活用した主流路外水域 (off-channel habitat) の自動検出	大石 銀司	対面
河口干潟の空撮画像を用いたハゼ科魚類の分布予測	山本 一輝	対面
北海道真駒内川におけるサケ科魚類の遡上改善を可能とする布式簡易魚道の適用性評価	横田 和弥	対面
階段式魚道における潜孔アスペクト比がカワムツの遡上率に及ぼす影響	藤田 凌安	オンライン
長方形プールにおける水面変動が魚の遊泳行動に及ぼす影響 ~ニホンウナギ, ドジョウ, カワムツおよびオイカワを対象として~	吉田 瑞矢	オンライン

OS1

日時：令和8年6月18日（木）10:30～12:30

場所：土木学会講堂（四ツ谷）

テーマ：大量の土砂と流木を伴う洪水氾濫の実態把握と必要な河川技術

～近年の中山間地河川で生じた大規模水害から学ぶ～

オーガナイザー：柏田仁，川池健司，武内慶了，田端幸輔，西口亮太，田方俊輔，米田駿星

1. 開会・趣旨説明

「超過洪水」は河川技術が向き合うべき重要なトピックの一つである。一方で、その定義は未だ十分に整理されておらず、着目すべき現象が十分に整理され、共通認識も十分に形成されているとは言いがたい。このため、実際に発生した災害事例に立脚し、実洪水イベントに対する多面的な分析を通じて、特に着目すべき現象や課題、河川技術としての対応を着実に議論することが重要である。

本セッションでは、近年、中山間地河川で頻発している「大量の土砂と流木の流下を伴う洪水氾濫」に着目する。2017年九州北部豪雨や2024年9月奥能登豪雨では、大量の土砂と流木の流下を伴う洪水氾濫が多数の河川で発生し、甚大な被害をもたらした。

本セッションでは、これら中山間地河川で生じた大規模水害に着目し、洪水氾濫の実態把握を進めるとともに、さらなる現象理解と対策のために必要な河川技術について議論する。

2. 話題提供

久加朋子（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科准教授）

R6年奥能登豪雨災害における土砂・洪水氾濫を伴う河道変動特性の河川間比較

原田大輔（法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科准教授）

能登半島豪雨における塚田川の洪水氾濫に土砂・流木が及ぼした影響の分析

大野純暉（国立研究開発法人土木研究所河道監視・水文チーム主任研究員）

中山間地流域における家屋流失評価に向けた河道埋塞を伴う氾濫流についての水理的考察

3. 論点整理・総合討議

中山間地河川で生じた大規模水害に着目した洪水氾濫の実態把握並びに現象理解と対策のために必要な河川技術について、話題提供者、会場を交えた総合討議を行います。

パネリスト

久加朋子（富山県立大学工学部環境・社会基盤工学科准教授）

原田大輔（法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科准教授）

大野純暉（国立研究開発法人土木研究所河道監視・水文チーム主任研究員）

麓博史（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課水防企画室長）

4. 閉会

OS2

日時：令和8年6月19日（金）9:00～11:00

場所：土木学会講堂（四ツ谷）

テーマ：河川環境目標を現場につなぐ評価・設計・管理技術

オーガナイザー：原田守啓，知花武佳，藤本雄介，崎谷和貴，三浦心，松田浩一

1. 開会・趣旨説明

治水と環境の調和した河道の実現に向けた河川技術への要請がより一段と高まる中で、河川技術論文集の論文募集特定テーマC「治水目標と河川環境目標を達成するための知見と技術」には多数の投稿をいただいた。

投稿された論文から、①河川環境の現状把握や科学的・経験的知見を河川環境目標の設定にどうつなげるか（河川環境目標の提案）、②河川環境目標の達成に向けて評価指標・予測技術・施工・管理プロセス・合意形成をどのように接続するか（仕組みとワークフローへの実装）、③河道掘削・樹木管理等の維持管理行為を治水と河川環境目標の達成手段としてどう再設計するか（目標の達成手段）という3つの課題が浮かび上がった。

本OSでは、まず国土交通省から全国河川における河川環境目標の設定状況について話題提供いただいた後、3つの課題に対応した論文を代表して3題の話題提供をいただく。その後、会場を交えた総合討議により、課題への理解を深め、今後の取り組みの方向性について議論する。

2. 話題提供(15分×4題)

藤本雄介（国土交通省水管理・国土保全局河川環境課）

（仮）定量的河川環境目標設定の議論の背景／全国河川での設定状況と課題感

大槻順朗（山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系）

（仮）扇状地石礫床河川での河川環境目標の提案

秋田麗子（日本工営（株））

河道計画・設計において河川環境目標を実現する上での課題 ～実務の観点から～

後藤勝洋（中央大学研究開発機構）

今村正史（国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所） ※総合討議より参加

（仮）六角川の掘削を治水と環境の両面からどう評価するか

3. 論点整理・総合討議

治水目標と河川環境目標の達成に向けた3つの論点を中心に、話題提供者、会場を交えた総合討議を行います。

4. 閉会